CLA Award 2022

特　別　賞

①

第 38 回全国都市緑化くまもとフェア くまもと花とみどりの博覧会

株式会社アーバンデザインコンサルタント
大杉哲哉・福岡李奈・安部あすか
株式会社空間創研
後藤逸成・荘田隆久・野見山志帆・山川弘子・徐蓉
株式会社大揮環境計画事務所
丸山幸・亀井菜々美

第 38 回全国都市緑化くまもとフェア「くまもと花とみどりの博覧会～ THE GREEN VISION 未来への伝言～」（以下、くまもとフェア）は、「“森の都”の魅力再発見と“森と水の都”の発信」「熊本地震への支援に対する感謝と復興のメッセージ」「未来への襷～未来へつなぐ、つなげる～」の 3 つの理念のもと「森と水の都くまもとで花と生きる幸せをつむごう」を開催テーマに、2022 年 3 月 19 日から 5 月 22 日の 65 日間、熊本市の熊本城公園及び花畑広場一帯、水前寺江津湖公園一帯、貴重な緑が残る立田山の 3 つのメイン会場を中心に市内及び県下 45 市町村のパートナー会場で開催されました。

くまもとフェアでは、様々な花と緑の取り組みへの参加・体験、花緑の顕彰を通して、市民や来訪者が熊本の自然環境・歴史・風土を再認識し、度重なる災害から復興する熊本の元気を伝えると共に、更なる協働社会の実現に向け、多様な主体が関わりくまもとフェアを通して一人一人が「花や緑に囲まれることの幸せ」に気づき、想いを巡らせ、心に芽生えた想いを一人一人の「THE GREEN VISION」として未来につなげることを目指し、熊本地震からの復興のシンボルである熊本城下に広がる「街なかエリア」では、新たな“ハレの場”となった花畑広場と西日本最大のアーケードでの花や緑の展開からこれからの“まち”の姿を発信し、「水辺エリア」では、熊本の水の恵みを象徴する水前寺江津湖公園での水と緑の豊かさを伝える体験型イベントや再整備された熊本市動植物園での上質な生活都市に相応しい向けた新たな緑の発信拠点となる花緑の展開、都市に残された貴重な自然緑地である立田山を舞台とした「まち山エリア」では、自然と触れ合う体験型コンテンツの展開により緑の顕在化を図りました。

そして、熊本の自然の恵みをうけ、県内生産者により生産・育苗された花と緑や多様な主体による庭園や花緑の出展作品、多彩な取り組みを通して、未来につながる気づきや豊かな心を育むきっかけを創出したくまもとフェアは、新型コロナウイルス流行の影響が懸念されましたが 65 日間の来場者は目標を上回る 168.5 万人を記録し、閉幕後も、開催を契機とした取り組みやネットワークはレガシーとして未来へ引き継がれています。

作品概要

作品名――　第 38 回全国都市緑化くまもとフェア
　　くまもと花とみどりの博覧会
対象地――　熊本市内3地区
　　街なかエリア：熊本城公園及び花畑広場一帯
　　水辺エリア：水前寺江津湖公園一帯
　　まち山エリア：立田山
発注――　熊本市・第 38 回全国都市緑化くまもとフェア実行委員会
主催――　熊本市・公益財団法人都市緑化機構
計画――　株式会社アーバンデザインコンサルタント・株式会社空間創研・
　　株式会社大揮環境計画事務所
計画協力――　株式会社 RKK メディアプランニング・TSP 太陽株式会社・
　　株式会社グリーンダイナミクス・
　　第 38 回全国都市緑化くまもとフェア植物調達協議会
計画期間――　2019 年 6 月～ 2021 年 11 月
開催期間――　2022 年 3 月 19 日～ 2022 年 5 月 22 日

作品評

応募者を含む三者からなる共同企業体は、博覧会の 3 つの理念を踏まえ、3 つのメイン会場の計画、設計、監理に取り組んだ。熊本の自然環境・歴史・風土に立脚して、地域力向上のきっかけとなり、自然災害から復興する熊本の姿を伝え、市民が協働する社会の実現につながることを目指した。

共同企業体は、それぞれが蓄積したノウハウや地域精通度を生かして会場設計、監理、運営に取り組んだ。これらの活動は、設計・デザインにとどまらず、多様な主体が参画する事業のプランナー・コーディネーターを務めて、博覧会の事業推進に大いに貢献した。閉幕後、熊本市では博覧会をきっかけとしたまちづくりの準備が進められている。

コロナ禍において緊急事態宣言による行動制限のなかで、三者は連携して業務を遂行した。博覧会を契機とする地域づくり事業において、ランドスケープデザイナーの力を世に示した仕事であると評価され、特別賞となった。

②

③

④

⑤

⑥

⑦

①熊本県産の花きが競演した花風景［水辺エリア］　②熊本城へ続くニコライ・バーグマン氏監修の街なか花壇［街なかエリア］　③西日本最大のアーケードに展開した花と緑の休息［街なかエリア］　④熊本県産切り花による「花のトンネル」制作　⑤匠の技を競う庭園コンテスト［水辺エリア］　⑥沿道を彩る子供たちの花緑［水辺エリア］　⑦都市の貴重な緑の顕在化［まち山エリア］